

■着任のご挨拶

皆様、はじめまして。この度、濱家の後任としてシンガポール事務所に着任しました北田拓也（きただ たくや）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

こちら着任する前は、商工労働部産業政策課に在籍し、東南アジアをはじめとした海外展開のご支援や、本県の基幹産業である食品産業や情報産業の振興に携わったほか、2年間の中小企業庁への出向も経験いたしました。今後は海外という、これまでにない新たな環境となりますが、こうした仕事にチャレンジできることを大変嬉しく思っています。貪欲に色々なことを吸収し、これからの取り組みに生かしていけるよう、精一杯頑張っていきたいと思っております。

■シンガポール事務所について

改めて県のシンガポール事務所についてご紹介いたします。シンガポール事務所は2014年（平成26年）の10月に開設し、現在9年目、駐在員は私で4代目となります。所在地はシンガポールの金融の中心地である「Raffles Place（ラッフルズ・プレイス）」にあります。新しい高層ビルが立ち並ぶビジネス街ですが、その中でひとときわ歴史のある（築50年近い）「Hong Leong Building（ホン・リョン・ビルディング）」という建物の38階、ジェットロシンガポール事務所の中にあります。ちなみにこのジェットロシンガポール事務所は、全世界で80以上あるジェットロの海外事務所の中でも3番目の規模となる大きな事務所で、総勢40名ほどが在籍しています。

私と一緒に働くナショナルスタッフもこの4月から交代となり、新しくChristyia（クリスティーシャ）が着任しました。アジアNo.1の大学とされるシンガポール国立大学を卒業し、日本語も堪能なとても優秀な職員です。また、日本の食や文化などにも非常に興味を持っており、早速、日本酒や石川県の伝統工芸の製造方法ついて、通勤時間にyoutubeで勉強するなど、とても勉強熱心な性格です。

今後北田とクリスティーシャの2名で、県内企業の皆様方の東南アジアへの展開をサポートさせていただきますので、何かありましたら、お気軽にご連絡ください。所在地はシンガポールですが、所管するエリアは東南アジア全体となりますので、シンガポールだけではなく、周辺国での案件につきましても、幅広くご相談いただけましたら幸いです。



左からクリスティーシャ、（ひゃくまんさん、）北田

■タイ・AEC ビジネス促進部会について

着任早々、いきなりタイへと足を運び、石川県鉄工機電協会のタイ・AEC ビジネス促進部会に参加させていただきました。同部会は、「AEC（アセアン経済共同体）域内に進出する会員企業を主体として、会員企業の情報交換の場の創出と、企業間の緊密なネットワークを構築するほか、現地各種団体・企業との交流、部会員の企業情報の発信など、AEC 域内製造業の中心の地であるタイ（バンコク）を活動拠点として、設立した部会」ということで、定期的に活動を行っております。今回は、県が1月にタイ工業省と締結した「経済連携に関する覚書（MOU）」をテーマに、同省ジャパンデスクの井上さん（中小企業基盤整備機構からの出向）をゲストにお招きして、今後のタイ工業省と石川県との連携について意見を交わしました。

タイ工業省のジャパンデスクは、日本企業とタイ企業のマッチング機会の創出や、MOU を締結する自治体との連絡調整を行う、日本専門の部署で、14年前から設置されています。職員には、井上さんの他に日本人が3名いらっしゃるそうです（いずれも自治体からの出向）。日本以外の国についてこのような部署の設置はなく、タイが日本との連携・協力を非常に重要視していることがうかがえます。

部会の前半では、井上さんより、タイ工業省の概要やこれまでのMOU 締結自治体との取り組みについてご講演いただきました。セミナー形式で日本側の企業のプレゼンや、商品のデモンストレーションを行い、タイ企業とのマッチングにつなげた事例などをご紹介いただき、今後石川県ともこのような連携をしていきたいとのご提案をいただきました。

部会の後半では、タイ工業省との連携に求めるものについて、グループワークによる意見交換を行いました。本県からタイに進出する企業の多くは、日系企業を相手にビジネスを行っておりますが、参加した企業の方々からは、現地でのさらなる販路の拡大や、調達先の切り替えによるコストカットなどを目的に、タイのローカル企業とのマッチングを望む声も聞かれました。

一方で、慣れないローカル企業との取引には不安も大きいので相手企業の信用をどう担保するのか、といった点や、双方のニーズとシーズのミスマッチが起きないように密に情報交換を行うこと、といった点が課題として挙げられました。

県としては、今回の部会でいただいた様々なご意見を踏まえ、MOU に基づく取り組みをしっかりと成果につなげられるよう、引き続きタイ工業省と議論を行っていききたいと考えております。



タイ工業省井上さんによるご講演



グループワークによる意見交換